

平成26年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「人をつくる」ことに基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の形成をめざす。
- 2 生活・学習の両面において、きめ細かい指導を行い、自立にむけて必要とされる基盤となる能力や態度を育成する。
- 3 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、学校行事や部活動への積極的参加を促し、豊かな人間力を育成する。
- 4 保護者・同窓会・後援会と連携するとともに、地域とのつながりの強化を図る。

2 中期的目標

【1】建学の精神に基づく教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮する。

(1) 私学の独自性

建学の精神「報恩感謝」・教育理念「人をつくる」ことを教職員がよく理解し、それに基づいて教育を行う。

※入学式・卒業式・全体集会などの取り組みを通じて、建学の精神や教育理念について生徒の理解を深める。

※教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に基づき、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。

(2) 生徒のニーズに対応したコース制

生徒の多様なニーズに対応し、英数・英数発展・6年一貫の3つのコース制を設けて教育活動を行う。

※英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。

※英数発展コースは、応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。

※6年一貫コースは、自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。

【2】基本的な生活習慣の確立を行うとともに、学習面において、きめ細かい指導を行い、確かな学力を育成する。

(1) 生活指導

※基本的な生活習慣と規律ある態度を養うように指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。

※挨拶運動・シェアシート運動等を実施し、基本的なマナーの実践に努める。

(2) 教科指導

※各教科は基礎・応用に細かな指導を行うため年間を通じた教育計画を立て、シラバスに沿って指導する。

※授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。

※学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施する。

【3】安全で安心な学校づくりと生徒への支援

(1) 人権教育

生徒一人ひとりが互いの個性を尊重し合う集団づくりを行うとともに、人権を尊重する学校づくりを行う。

※人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して相手を思いやることができるよう指導する。

※いじめ等を未然に防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施するなど生徒との接点を密にする努力を行う。

※障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行う。

※12月の人権週間には人権講演を実施する。

(2) 危機管理と情報公開

生徒の安全・安心を優先して危機管理に当たり、私学の有する公の性質と学校教育に果たす役割を考慮して情報を公開する。

※教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を日頃からもち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。

※学校ホームページ等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。

(3) 課題を抱えている生徒への支援と進路希望

※生徒が抱えている問題に対して、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行う。

※個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。

【4】保護者・同窓会・後援会との連携と地域への社会貢献

保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動や啓発活動等に協力する。

※保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。

※自治体等から依頼される式典・啓発活動等で地域に協力する。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [(平成26年度) 平成27年1月実施分]	学校協議会からの意見 [(平成26年度) 平成27年5月実施分]
<p>評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う 評価方法：各項目について、5段階評価で行う 5：大変そう思う 4：どちらかといえば思う 3：普通 2：あまり思わない 1：全く思わない</p> <p>○生徒・保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入学してよかったか」の設問では保護者4.4で昨年と同じ、生徒4.3と昨年度より0.1ポイント上がり、目標値を上回っているが、これからもより良い評価を目指す。 ・「基本的生活習慣」の再確認と育成を行い、目標値4.0以上としたが、いずれもクリアできていない。生徒は昨年3.5から3.7、保護者は昨年4.3から4.4と少し上昇したとはいえ、生徒はより高い満足度を欲しており自分に厳しく基準を設定しているようだ。また、生活習慣は全ての基本であり、今後も教育の最重点課題として取り組む。 ・「いじめの対応」が目標値(4.0)に達していない。講演会(保護者対象・生徒対象・教員対象)・日直面談や職員研修などを実施し、特に見えにくい情報機器による誹謗中傷の予防に力を注いだ結果0.1ポイント上昇したものの依然満足度は低い。全ての生徒が楽しく安全な学校生活を過ごせるように今後もより一層取り組む。 設問【⑩いじめの対応は適切か】 (生徒 25年度3.6/26年度3.7) 	<p>○ 生徒・保護者による学校評価アンケート結果に対する外部評価</p> <p>「基本的生活習慣」の再確認について 子供たち自身の評価が厳しいのではないかとと思う。 校則は適当で、子供たちもその校則に従って生活できているように感じる。挨拶については他の学校に比べ充実していると思われるが、以前に比べると少し元気が無いようにも感じる。知らない人には挨拶ができない生徒、表現できない生徒も出てきている。 指導する側から再度認識をして努力してもらえればより一層活気のある学校になるかと思う。</p> <p>日直面談等、個人レベルでの対応は良くできていると思う。 日直面談が義務的な活動にならないように、有効活用できればよい。また、子供が悩んでいることを、日直面談により別の生徒から情報を得てもらえたりすることが非常に助かる。本学園中学校では陰湿ないじめをする生徒はいないと思われる。逆に無関心な生徒もいるのではないかと懸念も残る。母親への研修活動を充実させ、保護者への子育て学習の機会を増やすことを検討し、学校と保護者の協力体制を強化してほしい。(母親教室など)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・「学力のつく学習」の更なる実践を目指しました。目標値4.3以上に設定し教員・生徒共に目標値をクリアできるように頑張ったがアンケートの数値は低く、生徒自身が自分自身を評価するため、判定基準を厳しくしているように思われます。外部模試や高校合格実績から判断するともっと高い数値でも良いと思われるが、来年度は生徒の学習意欲の向上に向けてより一層創意工夫を行う。 設問〔⑬生徒は授業に意欲的か〕 (生徒 25年度3.6/26年度3.7) ・「クラブ活動と多彩な行事」は「実行から学べ」の教育方針のもと、体験を通して学んだ知識を使いこなせる能力を身につけるために力を注いでいる。人間力の育成に重要な行事やクラブ活動及び人間関係の項目が高評価である。 設問〔②行事は充実しているか〕 (生徒 25年度4.3/26年度4.4) 設問〔④クラブ活動は楽しいか〕 (生徒 25年度4.1/26年度4.2) ・全項目における平均は保護者 4.1 生徒 4.0 で、生徒の満足度が0.2ポイント昨年度よりも良い評価になっている。 各項目別に目標値を決め、基本的な生活習慣の定着はもとより人間力の育成・学力の向上に向けてより一層努力が必要である。 <p>○教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に関する評価については当面の目標である4.3以上の評価が設問中の2項目しかなかった。また、昨年度と比べ評価が上昇傾向にあるが、教育方針や学校運営を教職員が良く理解し、教育を実践するよう努力が必要である。 ・教育内容に関する評価については、設問中の8項目で当面の目標4.3以上の評価である。ここでは人権教育や読書タイム・生徒会活動・授業を受ける基本的なマナーの評価が高い。 ・生徒指導・支援に関する評価については、10の設問があるが全体的に高評価である。4.3を下回る項目は昨年より3項目減り1項目となり教員の努力が伺えるが、これに満足せず一層の学習支援・進路相談等に努力を重ねることが必要である。 ・教員研修・資質向上に関する評価については3項目すべてに評価が低く、その改善に努力した成果が見えない。特に、個々の教員が自己研鑽や研修に参加した場合、職員会議や職員研修の場で発表し、成果の共有をしなければならぬ。また、学校は経験交流の場を設け学び合う環境作りを考えたい。 <p>【分析】</p> <p>学校目標に沿い、教員がどのように努力し、どの程度達成できたかを自己評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を分析して、そこから見えてきた新たな課題を、今後の学校改革・教育改善の目標としてしっかりと取り組んでいきたい。生徒一人ひとりを大切にしながら、教員相互の連携・協力をより密にとり、今後さらに研鑽を重ね教員の教育力・人間力の向上を図り、より良い教育の実践を目指す。 	<p>授業について、工夫して授業を計画していただいていると思う。保護者が自分の子供の様子に満足（期待）する思いが強いため、少し評価が低くなっているようにも思う。また、各教科の取り組みで、昨年度よりも少しずつ改善されているようであるが、研究授業や自己研鑽などでよりいっそう授業力を向上する機会を作るよう努力できればよいと思われる。</p> <p>行事は本当に多彩で満足いくものである。他校に比べ、量だけでなく、その内容も非常に充実していると思われる。文化祭と小学校の運動会が同日開催日であるので、PTA活動に支障をきたしている。再度日程について前向きに検討できればより一層良いのではないかと。</p> <p>生徒と教師の関係について、厳しくとも、愛情を持って接していることを生徒にわからせるように心がけると信頼関係もより深まると思われる。メリハリのある仕事環境を築き、教職員がストレスをためないように心がけるのが良い。ストレスは子供に跳ね返ると良い関係が構築できない。</p> <p>○ 教員による自己評価集計結果報告に対する外部評価</p> <p>6年一貫コースと3年コースとで学校の取り組みに差があるような意見もよく耳にする。両方向から互いにある意見ではあるが、コース間のバランスをうまく取るように、中学校全体の取り組みの充実に教職員が相互理解を深めてほしい。</p> <p>教育内容について、教科指導の評価は高く、満足のいく数値である。生徒の評価との間に差があるのが気になる。教師間で違いもあるかと思われるので、より向上させるためにも研究授業等を充実させるとよい。</p> <p>教員研修・資質向上について、研修の成果を他の教員と共有できるように外部研修や自己研鑽を活発に行うように指導し、またその内容が教員で共有できるように研修報告書の充実や研修発表などの対応をするほうが良い。また、校内研修についてもより一層の充実を図るとよい。</p> <p>○ 結果</p> <p>総合的に学校評価・自己評価ともに概ね評価通りであり、改善策も妥当と感じられる。</p>
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価
平成26年度

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神に基づく教育の実践と私学としての独自性	(1) 私学の独自性	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式・卒業式・全体集会などを通じて、建学の精神・教育理念について生徒に話をし、理解を深める。 ・教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。 	<p>私学であるため教員による建学の精神及び教育方針の理解及び実践が4.3であるが、4.5を目標とする。</p> <p>(平成25年度 4.3 平成26年度 4.3)</p>	<p>自己評価が平成26年度も昨年同様4.3であった。高評価であり、建学の精神・教育理念については、各教員は良く理解し、教育活動を実践していると考えられるが目標値にむけ一層の努力が必要である。</p>
	(2) 生徒のニーズに対応したコース制	<ul style="list-style-type: none"> ・英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 ・英数発展コースは、応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。 ・6年一貫コースは、自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。 	<p>コースの特徴を理解し、勉学に励んでいるか4.0を目標とする。</p> <p>(平成26年度 4.0)</p>	<p>今年度は目標の4.0を達成できました。特に英数発展のコース理解は4.2と高く、他コースの次年度への取り組みが期待される。</p>

<p style="text-align: center;">2</p> <p style="text-align: center;">基本的な生活習慣の確立と確かな学力の育成</p>	<p>(1) 生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。 ・重点を置いた指導として、挨拶運動・シェアシート運動を実施する。 <p>(2) 教科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科は基礎・応用を徹底的に行うため、年間を通じた教育計画を立て、シラバスに沿って指導する。 ・授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。 ・学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施する。 	<p>教員による、規則を守らせる指導・挨拶・礼儀を重んじる目標は4.5以上 (平成25年度 4.6 平成26年度 4.6)</p> <p>であったが、生徒・保護者による教員の規則を守らせる指導 (平成25年度 生徒3.9 保護者4.0) (平成26年度 生徒4.1 保護者4.1)</p> <p>差0.6を縮めることを目標とする。</p> <p>教員によるシラバスに沿った指導の目標を4.3にする。 (平成25年度 4.1 平成26年度 4.3)</p> <p>また、教員による授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業の展開の目標値を4.5にし、 (平成25年度 4.3 平成26年度 4.5)</p> <p>生徒・保護者による授業は分かりやすいか。 (平成25年度 生徒3.8 保護者3.8) (平成26年度 生徒3.8 保護者3.8)</p> <p>との開きが大きい、生徒・保護者の目標値を4.2以上に設定する。</p> <p>教員による生徒の学力向上・学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行なっている。 (平成25年度 4.0 平成26年度 4.1)</p> <p>生徒・保護者による学校の学力向上への努力の数値がほぼ一致しているが (平成25年度 生徒4.0 保護者4.1) (平成26年度 生徒4.0 保護者4.1)</p> <p>それぞれ4.3以上を目標としたい。</p> <p>生徒・保護者による生徒の学力向上への意欲が低く (平成25年度 生徒3.6 保護者3.8) (平成26年度 生徒3.7 保護者3.9)</p> <p>4.0を目標とする。</p>	<p>「規則を守る」評価が教員の指導は4.6、生徒は4.1と昨年より0.2ポイント開きが縮まった。教員は生徒指導に自己満足せず、生徒・保護者の理解を得るよう努力が必要である。また、日頃の生徒の挨拶や礼儀については良く頑張っている。</p> <p>教員は、シラバスに沿った指導及び、分かりやすい授業に努力は見られ自己評価も高くなっているが、生徒・保護者にとっては評価が3.8と昨年同様低くなっている。目標値に達するよう、教員の益々の研鑽が期待される。</p> <p>学力向上への努力については、教員・生徒・保護者のすべてが4.0以上であるが、学習意欲については3.7と生徒の評価が低い。教員は、生徒の将来像への希望などをふまえたHR指導や教科指導の工夫を必要とされる。</p>
--	--	--	---

<p style="text-align: center;">3</p> <p style="text-align: center;">安全で安心な学校づくりと生徒への支援</p>	<p>(1) 人権教育</p> <p>(2) 危機管理と情報公開</p> <p>(3) 生徒への支援と進路希望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行う。 ・いじめ等を防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し、人権意識を育てる。 ・障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行う。 ・12月の人権週間には人権講演を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。 	<p>教員は周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践している。</p> <p>(平成25年度 4.5 平成26年度 4.6)</p> <p>目標値に達しているが、生徒・保護者による教員の「いじめ」の対応は適切か</p> <p>(平成25年度 生徒3.6 保護者3.7)</p> <p>(平成26年度 生徒3.7 保護者3.7)</p> <p>と低い、目標は4.0以上と設定する。</p> <p>教員は人権に係わる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践している。</p> <p>(平成25年度 4.3 平成26年度 4.4)</p> <p>(平成26年度 生徒4.1 保護者3.9)</p> <p>安心・安全な学校を目指すには、危機管理マニュアルの整備</p> <p>(平成25年度 4.1 平成26年度 4.3)</p> <p>及び、緊急時の警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策は</p> <p>(平成25年度 4.0 平成26年度 4.3)</p> <p>4.5以上の目標が必要である。</p> <p>情報公開については、保護者の満足度が低く、</p> <p>(平成25年度 保護者3.8)</p> <p>(平成26年度 保護者3.9)</p> <p>4.2以上を目指す。</p> <p>日頃、担任は日直面談等きめ細かい相談・支援を行なっていると思われるが</p> <p>(平成25年度 4.2 平成26年度 4.5)</p> <p>生徒の個人面談等の満足度は低い。</p> <p>(平成25年度 生徒3.9)</p> <p>(平成26年度 生徒4.0)</p> <p>両方とも4.2以上を目標とする。</p> <p>生徒の将来を見据え、進路情報の提供や進路ガイダンス</p> <p>(平成25年度 4.3 平成26年度 4.4)</p> <p>及び、個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行なっている</p> <p>(平成25年度 4.2)</p> <p>目標値はクリアしているが、4.5以上を目指す。</p>	<p>人権講演・3年間の人権教育を通じて、本校教員の人権意識は高いと考えられるが、「いじめ」の対応についての生徒・保護者の学校に対する見方は0.1ポイント上昇したとはいえ決して高くはない。教員は「いじめ学校基本方針」を理解し、いじめを未然に防ぎ、人権意識を高める一層の努力が必要である。</p> <p>危機管理について昨年より0.2ポイント上昇している。教員はマニュアルをほぼ理解し、生徒が安全に登校・生活できるようにしている。また、備品等も少しずつではあるが備えられている。</p> <p>HPのリニューアルを行い、公開内容を充実させ、携帯電話での閲覧を可能にしたが0.1ポイントの上昇にとどまった。やはり写真や個人名の掲載が難しくなり、教育活動の公開が少なくなっているのが原因の1つと考えられる。</p> <p>教員は日直面談・進路面談などおこなっているが、生徒の満足度は4.0と昨年より0.1ポイント高くなっているが目標値に達していない。決められた面談だけではなく、いつでも相談に行けるような態勢を整えるようにしたい。</p> <p>進路説明会(生徒2回・保護者2回)・進路懇談など実施しており、出願方法や受験内容が年々変化する中、教員相互による進路学習会を経て、生徒・保護者に進路支援をおこなった結果0.1ポイント上昇した。</p>
<p style="text-align: center;">4</p> <p style="text-align: center;">保護者・同窓会・地域の連携と地域への社会貢献</p>	<p>保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動や啓発活動等に協力する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。 ・自治体等から依頼される式典・啓発活動等で地域に協力する。 	<p>保護者から見るPTA活動は</p> <p>(平成25年度 保護者4.0 平成26年度 3.8)</p> <p>目標値レベルであるが、生徒から見る生徒会活動は</p> <p>(平成25年度 生徒3.7 平成26年度 3.7)</p> <p>満足度が低い、目標値を4.0以上にする。</p>	<p>PTA活動は、学校に対する保護者の関心が年々薄れているようにみられ0.2ポイント下降した。生徒会は行事を通じてボランティア活動や震災復興支援などおこなっているが、今後継続的におこなう。また、生徒の自主性を促す行事の充実に尽力したい。</p>